

中堅現職研修

本研修会は、私学の中堅教員としてキャリアと実践を積み重ねた先生方にぜひ培っていただきたい「ふたつの力」を養う研修会です。この力とは、建学の精神に立ち返り、かつ現代日本の教育環境を取り巻く現実や未来をしっかりと見据える「縦の力」と、「自校」という蝸壺に留まらず、他の私学の仲間と出会い、繋がり、切磋琢磨し合う「横の力」を指しています。勤務校の未来を担うべくこの研修会に派遣された中堅の先生方は、この3日間でふたつの力を育成し、学校づくりへの新たな passion を必ずや醸成されることでしょう。そして、この研修会での出会いは、私学の教員としての深い mission への実践意欲と、「中堅現職研修同窓会」へと広がる一人ひとりの深い繋がりをもたらすきっかけともなるでしょう。

今年度は特に、AI技術の著しく発達する現代社会に於いて、未来に生きる子供たちが向き合うであろう課題も含め、教育界に立ちはだかる重要課題にしっかりと向き合う講座を設けました。ストレスのたまりやすい教員の日常を癒やす体験講座もお楽しみいただくと共に、二人の東京私立中学高等学校協会副会長が長年の教育活動や協会での活動を通して得た様々な知見をもとに篤く語りかける斬新な企画も盛り込んでおります。どうぞ奮ってご参加ください。

1. 会 期 **8月7日(月)・8日(火)・9日(水)の2泊3日(現地集合・現地解散)**
2. 会 場 **「常磐ホテル(甲府)」JR中央本線甲府駅 参加者用送迎専用バスで15分**
住所 〒400-0073 山梨県甲府市湯村 2-5-21 TEL: 055-254-3111
HPアドレス <http://www.tokiwa-hotel.co.jp/>
3. 募集定員 **30名(都内各私立中学高校の教諭、主任・部長ほか。1校何名でも可、先着順に受け付けます)** <昨年度の参加者の平均年齢は、39.7歳でした>
4. 参加費 1名につき**45,000円(宿泊費・食費・資料代など)**
5. 日 程 8月7日(月) **10:30受付開始** 11:00開会式
 8月9日(水) 16:00閉会式終了

時間 月日	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
8月7日(月)			受 付	開 会 式	エ ン カ ウ ン タ ー	昼 食	講 座 ①	分 散 会 ①	休 憩	夕 食	
8月8日(火)	朝 食	講 座 ②	分 散 会 ②	昼 食	講 座 ③	分 散 会 ③		講 座 ④	休 憩	夕 食	
8月9日(水)	朝 食	講 座 ⑤	分 散 会 ⑤	昼 食	分かち合い		閉 会 式	解 散			

※ 講座と分散会の間には小休憩を設けます。

6. 研修内容

・エンカウンター

原 田 泰 宏 (啓明学園中学高等学校長)
白 髪 美由樹 (東洋女子高等学校教諭)

・講座①「これからの私学に求められるキャリア教育のあり方」

児美川 孝一郎 法政大学キャリアデザイン学部教授

子どもたち一人ひとりがより幸福な人生を送っていくことができるようにするためにも、キャリア教育（学校教育と職業や人材育成との連関）は非常に重要な課題です。グローバル化や知識基盤社会の到来、就業構造・雇用慣行の変化等により新たな課題も生じている中、現実の日本の雇用情勢を踏まえ、これからの私学に求められるキャリア教育のあり方について示唆を得ます。

・講座②「AI だけで社会は成り立たない」

猪木 武徳 大阪大学名誉教授

人工知能が人間の知性を超える技術的特異点（シンギュラリティ）が広く世の中の関心を集め、教育の現場においても話題になるようになりました。AI 技術の進歩が目覚ましい社会の中で、未来を生きる子どもたちに求められる力とそれを伸ばす教育の在り様について、お話をいただきます。

・講座③「私学の危機管理 ～裁判例の分析を通じて～」

坂田 仰 日本女子大学教授

学校の危機管理の観点から、学校が抱えている現実を判例を基に、わかりやすくお話しをいただきます。保護者や地域の理解を得つつ、問題発生時に適切な対応を行うにはどのような事前の準備が必要なのか。これから学校を担う先生方には是非とも学んでいただきたい内容です。

・講座④「癒やしのヨガ ～マインドフルネス～」

白髪 美由樹 東洋女子高等学校教諭

「マインドフルネス」は、日本語で“気づき”を意味し、坐禅をベースにアメリカでプログラム化され、医療や教育の現場・企業などで実践されています。心と密接な関係にある呼吸を意識し、呼吸法をマスターしていくことで、心の安定とコントロールができるようになります。ゆったりとした深い呼吸で、自律神経を整え、心も体もリフレッシュしましょう。

・講座⑤「将来の私学を担う中堅現職の皆さんへ」

實吉 幹夫 東京私立中学高等学校協会副会長

清水 哲雄 東京私立中学高等学校協会副会長

私学の将来を担う皆様の私学人としての自覚を一層高めるべく、協会の二人の副会長が、一私学の理事長・校長としてもその思いを篤く語りかけます。教育界の劇的な変化の中で、建学の精神に根差した教育をどう実践し深めていくべきかを考えます。

・分散会

講座①～⑤（④を除く）の後で、グループに分かれ約 1 時間、講師と現職の校長等が協議に加わり、参加者と意見交換をいたします。

・「フリートーク」（自由参加：夜 8 時半頃～10 時を予定）

参加者が抱える問題を、参加者同志で考えます。そして、問題の共有化と解決に向けての糸口を探ります。現役の校長等も加わり、白熱すれば、続きは各部屋で心行くまで議論をしていただきます。

・「分かち合い」（3 日目午後）

この研修会を通し、何を感じ何を得たのか、研修会最終日に一人ひとりの発言を参加者全員で分かち合い、研修の成果を共有いたします。そして、単なる研修会を脱し、将来への行動と連帯意識の形成を目指します。

7. 委 員 委員長 實 吉 幹 夫（東京女子学園中学高等学校理事長校長）
滝 口 佳津江（田園調布雙葉中学高等学校長）
加 藤 晃 孝（城西大学附属城西中学高等学校長）
原 田 泰 宏（啓明学園中学高等学校長）
竹 鼻 志 乃（豊島岡女子学園中学高等学校長）
白 髪 美由樹（東洋女子高等学校教諭）